2020年３月期　決算説明資料

2020年5月29日

株式会社ヤシマキザイ

目次

1. 2020年3月期 通期決算概要 P. 2

2. 2021年3月期 通期業績・配当予想 P.13

3. ご参考資料 P.18

【ご注意事項】

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述している将来見通しとは、大きく異なる可能性があります。

1.　2020年3月期 通期決算概要

YASHIMA

- 売上高は、国内の鉄道事業は比較的堅調も、中国や海外向け案件は苦戦
  一般事業は通期で需要が低迷、前期比および業績予想を下回る
- 利益面では、減収や売上原価コスト計上に伴う売上総利益の減少により
  前期比および業績予想を大きく下回る

金額単位（百万円）	19/3期 実績	20/３期 予想	20/３期 実績	前年比	業績予想 実績比
売上高	37,014	37,342	36,082	▲2.5%	▲3.4%
鉄道事業	33,160	32,695	32,865	▲0.9%	＋0.5%
一般事業	3,853	4,646	3,217	▲16.5%	▲30.8%
売上総利益 （売上高利益率）	4,431 (12.0%)	4,221 (11.3%)	3,930 (10.9%)	▲11.3%	▲6.9%
営業利益 （売上高利益率）	640 (1.7%)	514 (1.4%)	350 (1.0%)	▲45.2%	▲31.8%
経常利益 （売上高利益率）	756 (2.0%)	600 (1.6%)	441 (1.2%)	▲41.7%	▲26.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 （売上高利益率）	479 (1.3%)	400 (1.1%)	248 (0.7%)	▲48.1%	▲37.9%

【2020年３月期 通期決算概要】　②貸借対照表（連結）

YASHIMA

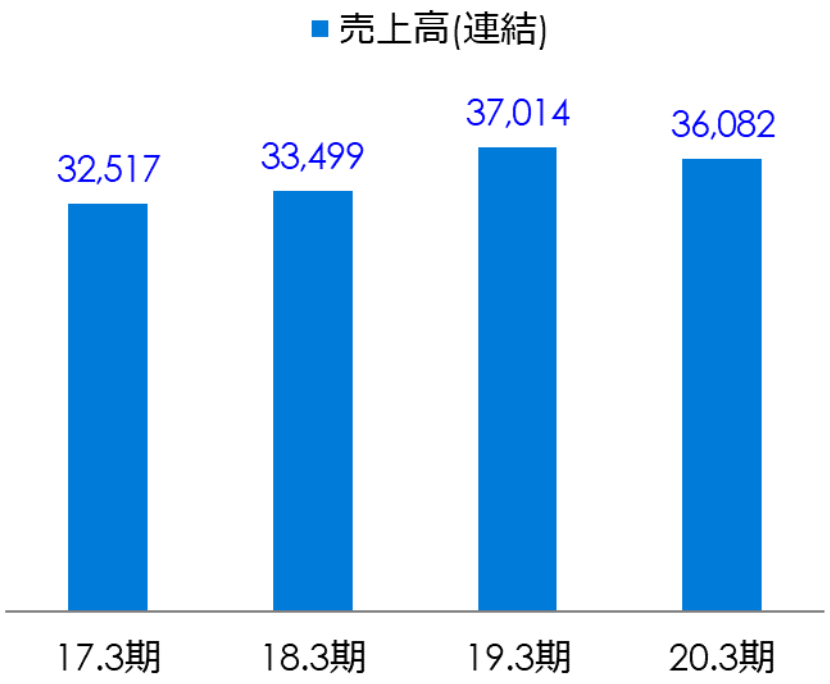
- 売掛金の回収と買掛金の支払により流動資産と流動負債が減少
- 期末現預金は8,618百万円、手元資金は充分確保
- 投資有価証券の一部売却により固定資産が減少
- 当期純利益により株主資本・純資産が増加

金額単位 (百万円)	2019/3期実績	2020/３期実績	前期末比
【資産の部】			
流動資産	23,062	22,693	▲1.6%
固定資産	3,372	3,038	▲9.9%
有形固定資産	75	64	▲15.0%
無形固定資産	313	252	▲19.6%
投資その他の資産	2,983	2,722	▲8.8%
資産合計	26,435	25,732	▲2.7%
【負債の部】			
流動負債	17,026	16,184	▲4.9%
固定負債	998	933	▲6.5%
負債合計	18,024	17,117	▲5.0%
【純資産の部】			
株主資本	7,912	8,392	+6.1%
その他の包括利益累計額	498	221	▲55.5%
純資産合計	8,411	8,614	+2.4%
負債純資産合計	26,435	25,732	▲2.7%

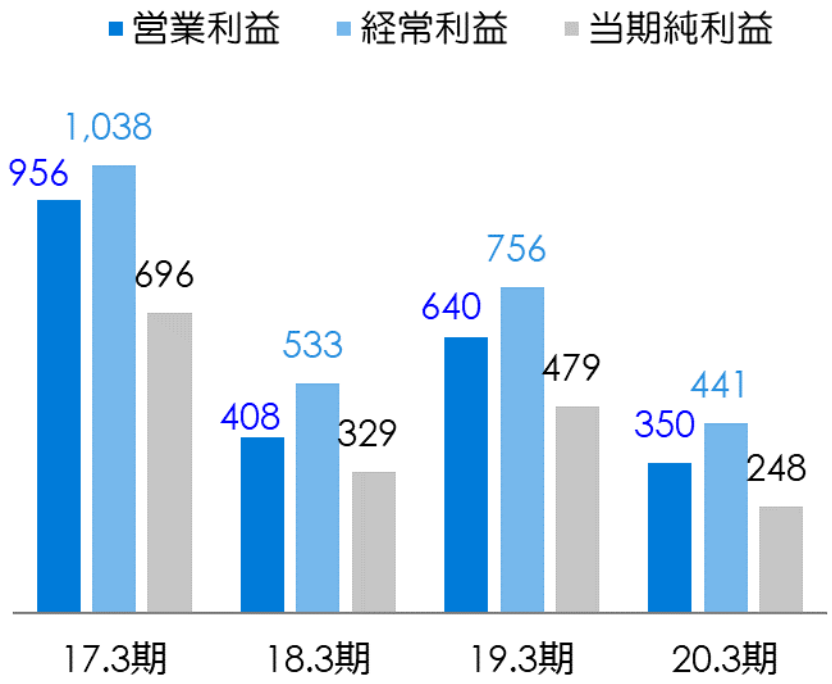
YASHIMA

- 売上高の推移は、海外鉄道案件と一般事業の業績低下を受けて減収
- 利益の推移は、売上高の減収に伴う売上総利益の低下や、海外鉄道案件で売上原価コストの追加計上に伴い減益

売上高の推移 (百万円)



利益の推移（百万円）

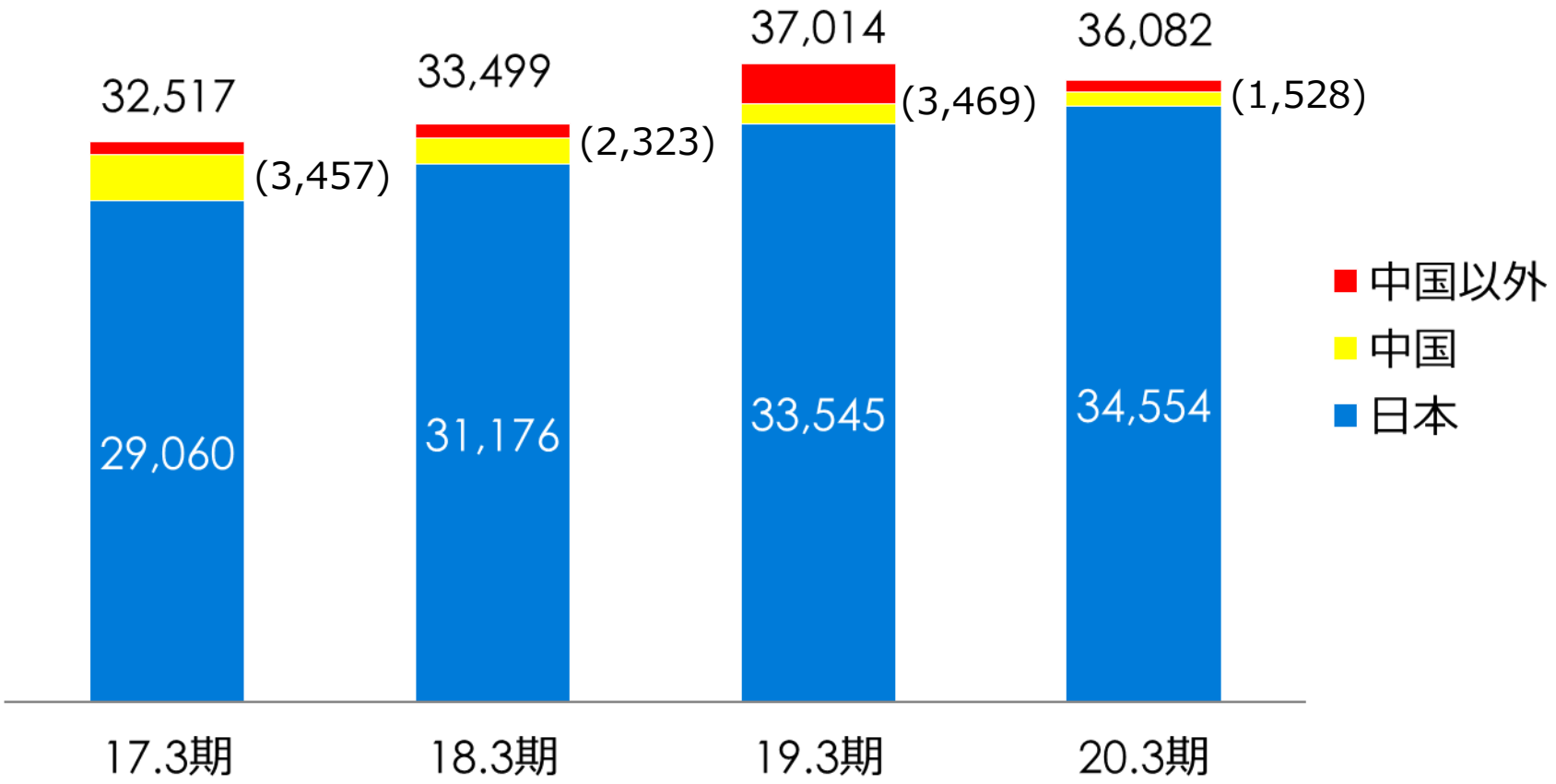


YASHIMA

■ 国内向け販売で増収も、海外向け販売は減収

地域別　売上高構成比

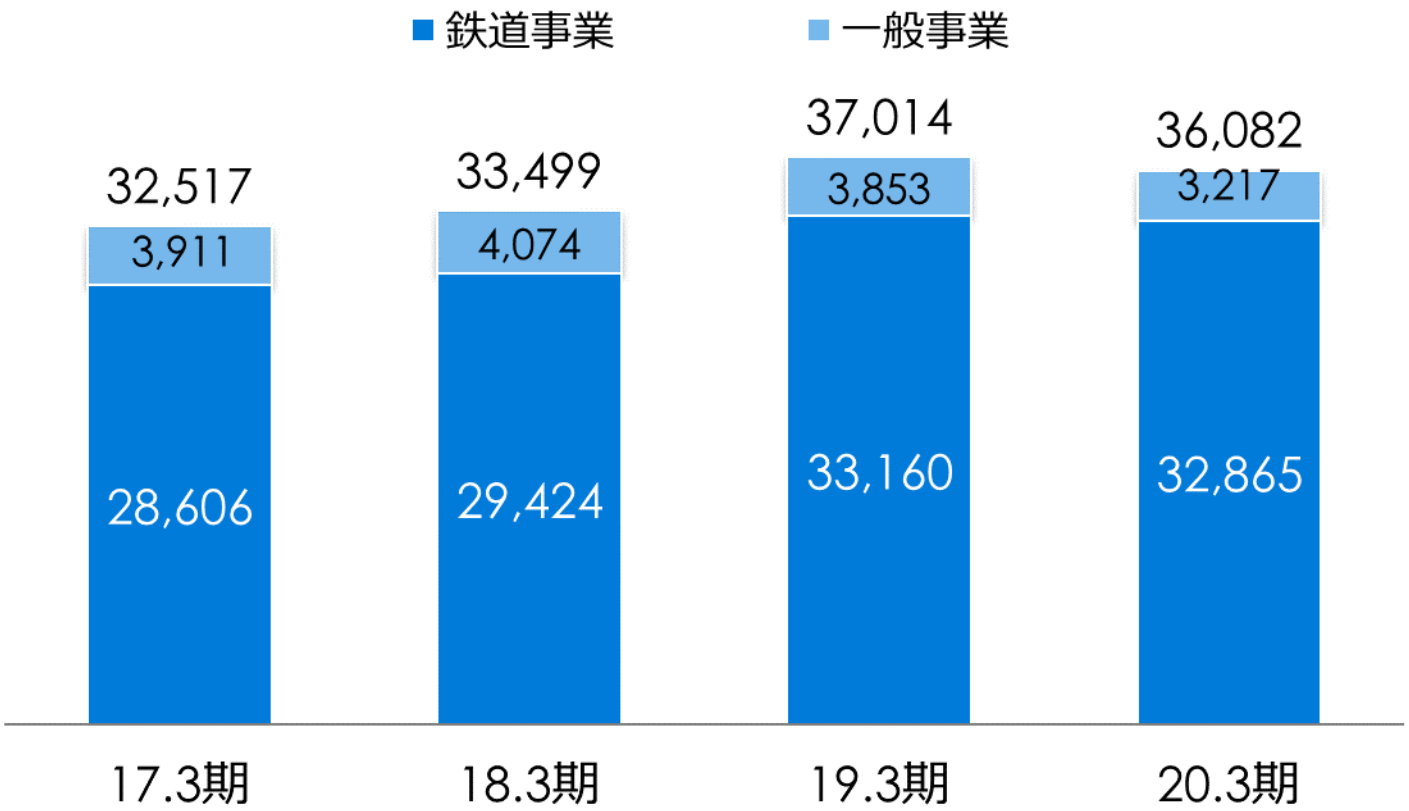
（　）数値は海外売上高



YASHIMA

■ セグメント別では、鉄道事業、一般事業ともに減収

セグメント別　売上高構成比



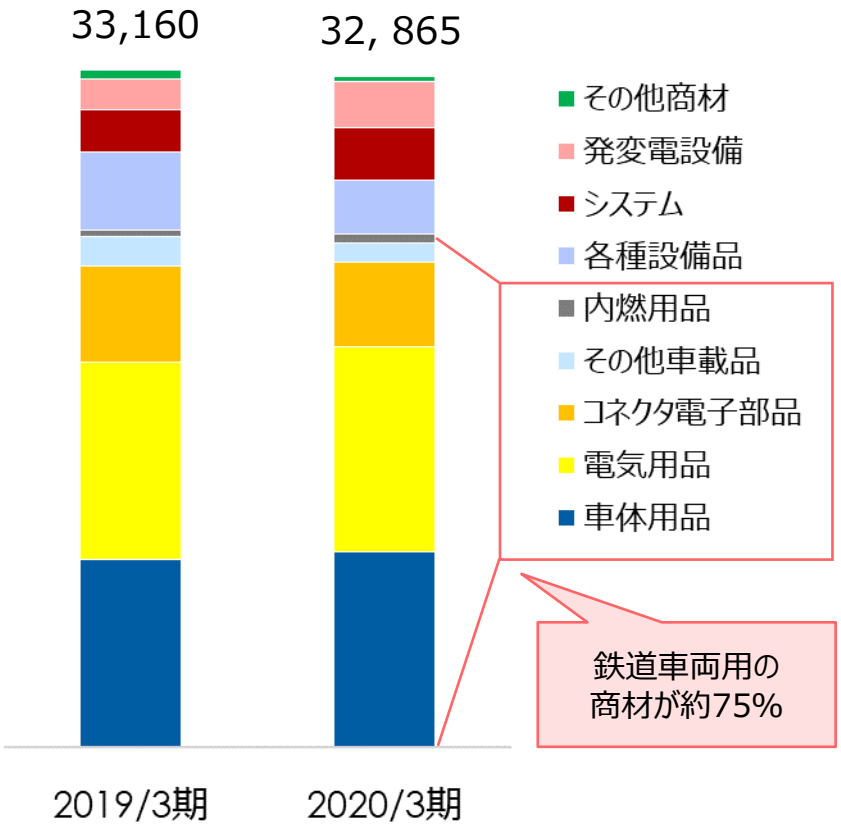
・鉄道事業　　鉄道事業者や車両メーカー等に車体用品、電気用品等を販売

・一般事業　　鉄道業界以外の産業機器メーカー等に電子部品等を販売

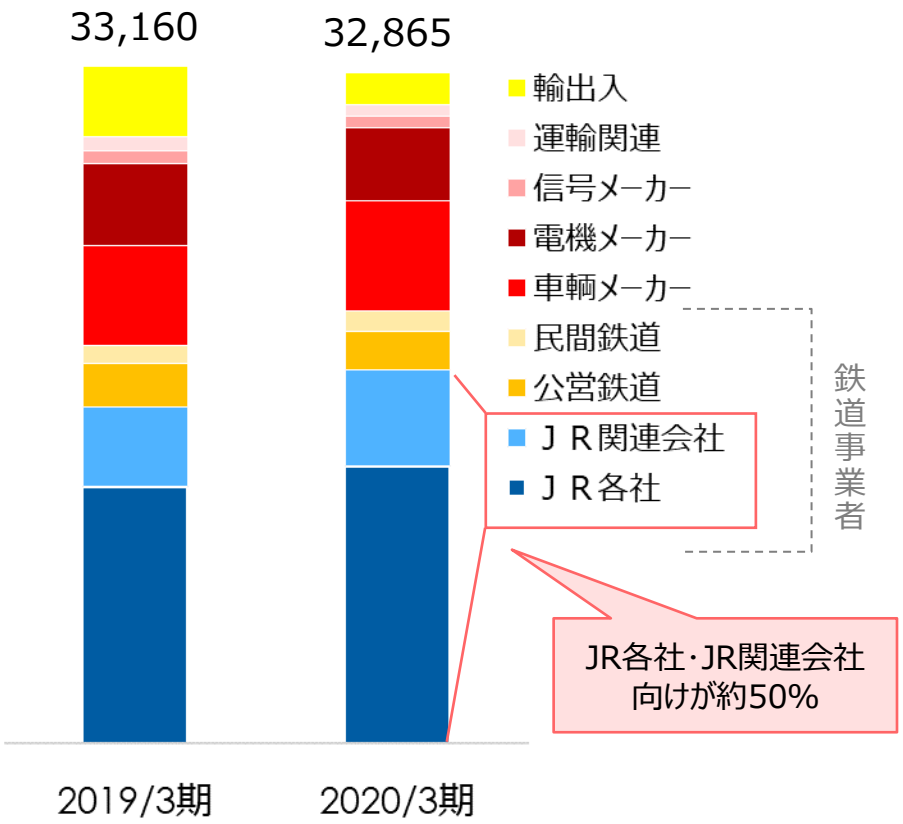
YASHIMA

- 鉄道事業は９つの「商材」を販売、うち約75%が鉄道車両用商材
- 鉄道事業は９つの「業界」に販売、うち約50%がＪＲ各社およびＪＲ関連会社に販売
- 2020年３月期は、商材ではシステム・発変電設備、業界ではＪＲ各社およびＪＲ関連会社向けに多く売り上げたが、全体では海外向け案件の低迷等で減収に

9商材別　売上高構成比



9業界別　売上高構成比



YASHIMA

■ 車両周りをメイン分野とし、幅広い鉄道関連事業を展開

車体用品

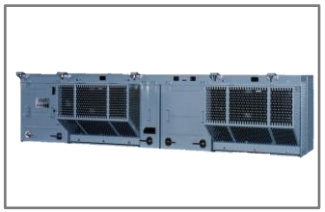
ブレーキ制御装置

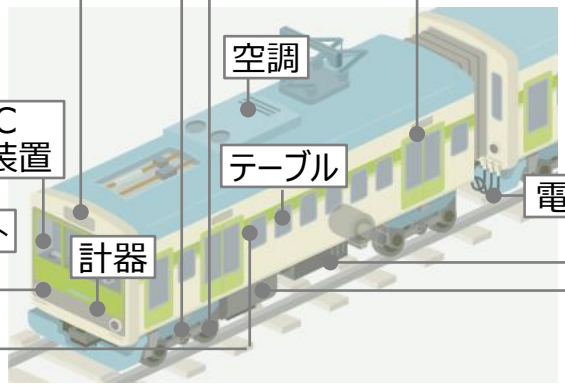
ドア開閉装置

表示器

電気用品

速度発電機


鉄道車両用インバーター



その他車載品

ロールカーテン

コネクタ・電子部品

車両用コネクタ

内燃用品

鉄道用エンジン部品

各種設備品

簡易型輪重測定装置

システム

運行管理システム

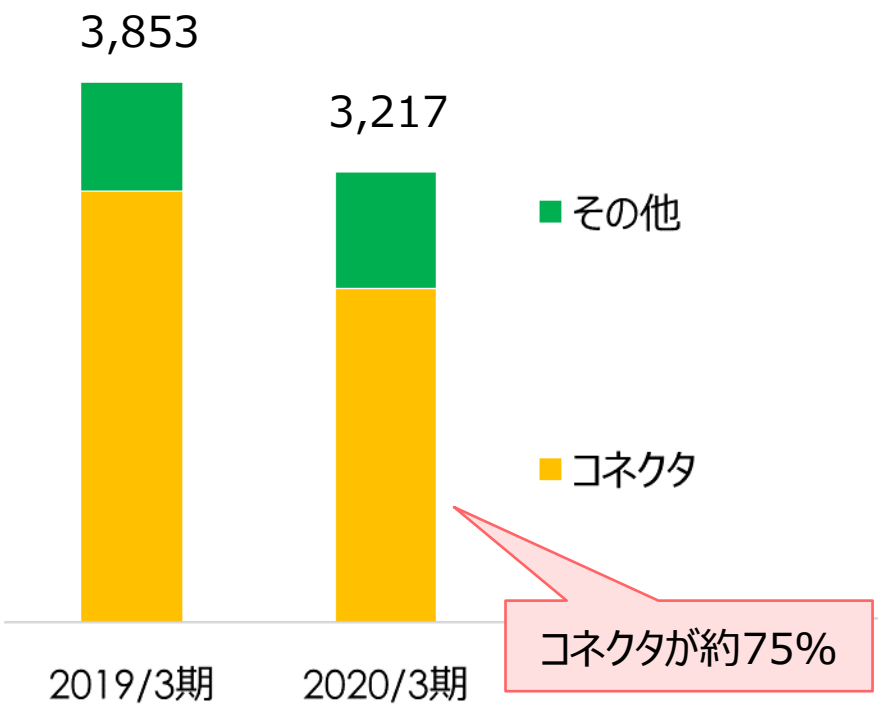
発変電設備

変電所設備

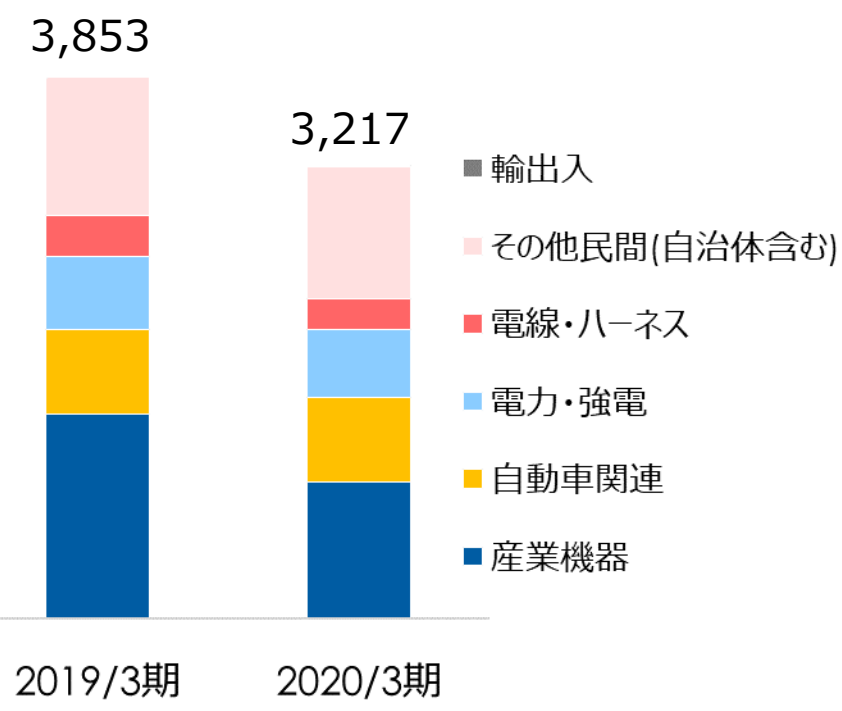
YASHIMA

- 一般事業は、６つに区分した「業界」に、主にコネクタ・電子部品を販売
- 米中貿易摩擦の影響等を受けた需要低迷が通期におよび大きく減収

商材別　売上高構成比



顧客業界別　売上高構成比



YASHIMA

■ 鉄道事業以外の販売先を対象に、主にコネクタ・電子部品などを販売

電力・強電 業界向け

EV充電器・
充電スタンド

電力用コネクタ

産業機器 業界向け

産業機器用コネクタ

船用コネクタ

エレベータ用コネクタ

建機用コネクタ

移動電源車

ウルトラファインバブル
生成装置

自動車用ミラー

自動車用コネクタ

自動車関連 業界向け

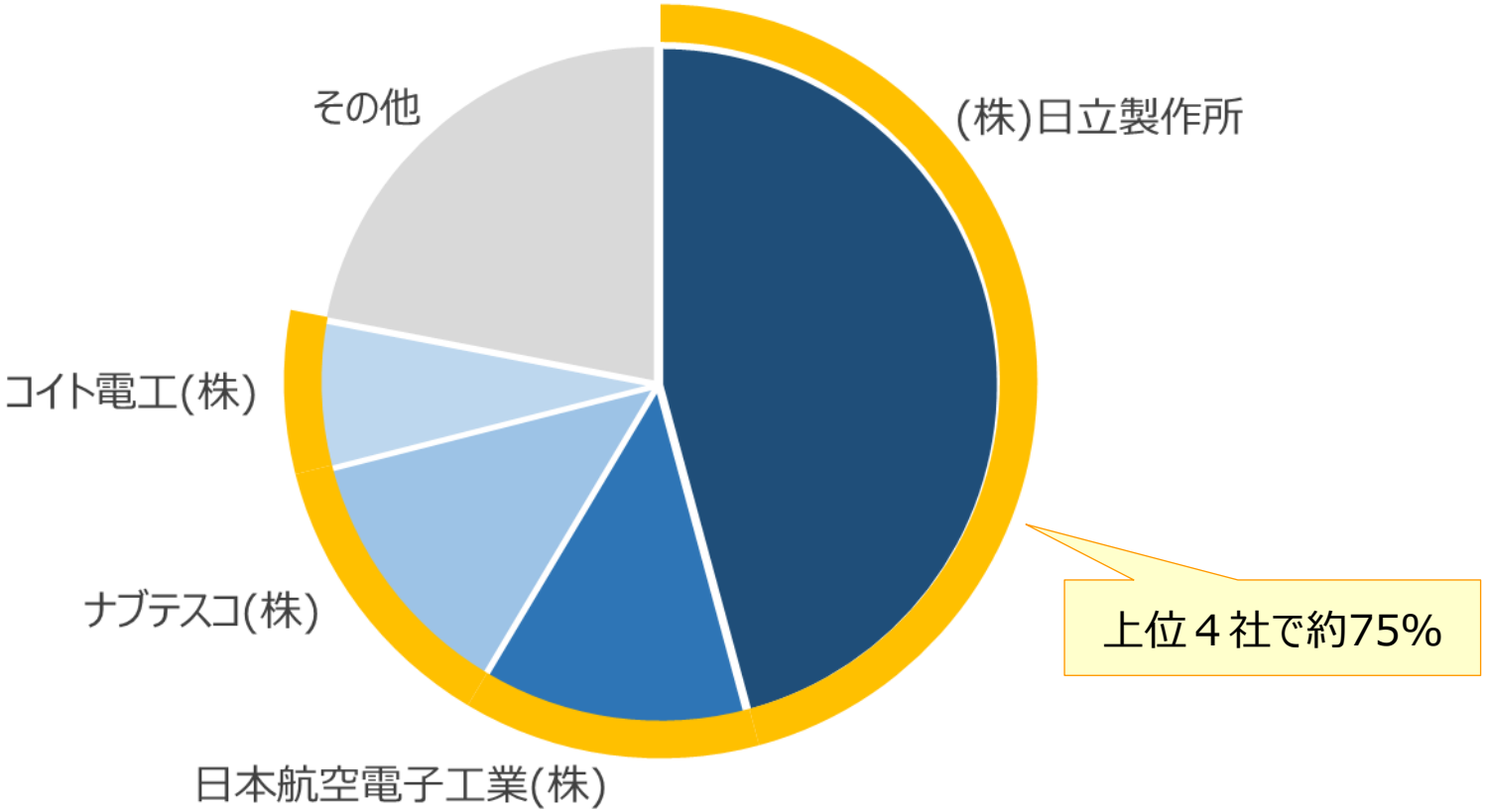
電線

ハーネス

電線・ハーネス 業界向け

YASHIMA

- 連結通期決算における、仕入先の構成を表すと次のとおりです。
- 上位４社で約75%の構成比となっています。
- この構成は、毎期概ね同様の状況です。



お客様のニーズに基づいて、新しい仕入先や商材の開拓にも注力しています。

2.　2021年3月期 通期業績・配当予想

YASHIMA

- 新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞、個人消費の低迷などにより、景気の先行きは一変しました。
- 当社グループの主な販売先であるＪＲ各社や、その他の販売先各社、また主な仕入先においても、2021年３月期の業績予想を「未定」とする企業が多くあります。
- 現段階において、当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の拡大による影響の予測を、合理的に算定することは非常に難しい状況です。
- また、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、長期化することが予想されているため、合理的な算定時期の見通しも困難な状況にあります。
- 一方、業績予想に大きな影響を生じさせる、明らかな減収または増収案件等は、現段階では認識しておりません。
- 従いまして、当社グループの2021年３月期の連結業績予想において、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は織り込んでおりません。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響は、主要な取引先の動向についても注視して、当社グループにどのような影響を及ぼすのか引き続き状況の把握と精査に努めてまいります。

YASHIMA

■ 鉄道事業は、国内外の需要を取り込んで増収を図ります。

✓ 鉄道事業における国内向け案件は、公民鉄事業者への拡販に注力するとともに、ＪＲ各社に対しては車両製品以外の製品や、車両以外の分野に対して拡販を図ります。

✓ 鉄道事業における中国向け案件は、高速鉄道車両用保守部品の受注獲得や、新規案件の開拓に注力を図ります。

✓ 鉄道事業における中国以外の海外向け案件は、東南アジアにおけるＯＤＡ案件に注力を図ります。

■ 一般事業は、2020年３月期の需要低迷からの回復を見込むとともにNEXCO各社等、高速道路事業者への拡販を行い増収を図ります。

YASHIMA

■ 緩やかながら増収増益を見込んでおります。

金額単位 (百万円)	20/３期 実績	21/３期 見込	前年比
売上高	36,082	38,207	＋5.9%
営業利益 （売上高利益率）	350 (1.0%)	412 (1.1%)	＋17.4%
経常利益 （売上高利益率）	441 (1.2%)	472 (1.2%)	＋6.9%
親会社株主に帰属する当期純利益 （売上高利益率）	248 (0.7%)	300 (0.8%)	＋20.6%

■ 新型コロナウイルス感染症による影響は、現段階で合理的に算定ができないため上記業績予想には織り込んでおりません。

YASHIMA

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、安定的な配当の継続維持を基本方針としております。

	2018/３期	2019/３期	2020/３期	2021/３期（予想）
１株当たり年間配当額	15.00円	25.00円	25.00円	25.00円
１株当たり当期純利益	124.32円	185.80円	89.68円	105.98円
配当金総額（合計）	38百万円	64百万円	70百万円	－
配当性向（連結）	12.1%	13.5%	27.9%	23.6%

3.　ご参考資料

会社概要

YASHIMA

社　　名	株式会社ヤシマキザイ　　【英文名】Yashima ＆ Co.,Ltd.
本　　社	東京都中央区日本橋兜町6番5号
代　表　者	代表取締役社長　髙田　一昭
設　　立	1948年10月28日
資　本　金	9,990万円
従 業 員 数	263名（2020年3月末現在）
事 業 内 容	鉄道関連製品と産業用電子部品の販売、メンテナンスサービスおよび輸出入

連結子会社

名称	住所	資本金	事業内容	議決権の所有(又は被所有)割合	関係内容
ヤシマ物流株式会社	東京都中央区	40,000千円	鉄道事業、一般事業	100.0%	物流業務等の委託
亜西瑪(上海)貿易有限公司	中国上海市	1,000千US$	鉄道事業、一般事業	100.0%	商材の仕入・販売 借入債務の保証 役員の兼務４名

※両社とも特定子会社　※有価証券届出書又は有価証券報告書を提出している会社はありません。

海外拠点

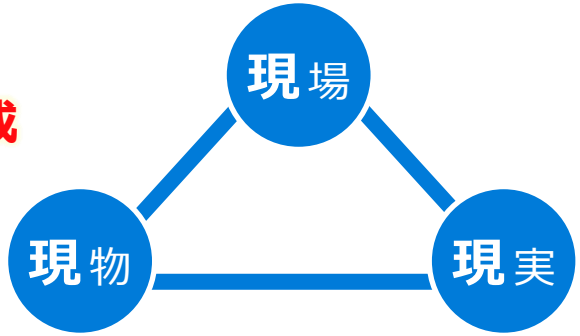
インド支店、ミャンマー支店、ハノイ駐在員事務所、ジャカルタ駐在員事務所、マニラ駐在員事務所、ロンドン事務所
■上海会社(現地法人)：上海・青島・深圳

YASHIMA

1	鉄道業界をメインフィールドとして、鉄道という特殊な条件に適合する商材やサービスを提供する専門商社です
2	3現主義(※)を基軸に、国内の取引先との強固なリレーションシップにより国内の鉄道業界を支える重要なポジションを確立しています
3	鉄道関連事業への業容拡大、公民鉄への販路拡大、グローバル化の促進を通じ、中長期的な成長を目指しています

※３現主義とは　顧客の **現場** に足を運び、**現物** に触れて、**現実** を知り、**現場** のニーズをくみあげ、仕入先に展開し、ソリューションを組み立てること

取引先との強固なリレーションシップを形成



沿革①

年月	概　要
昭和23年10月	香西角三郎他６名を発起人とし、資本金25万円で東京都中央区に 八洲器材株式会社 として設立
昭和26年８月	振興造機株式会社（現　神鋼造機株式会社）と代理店契約を締結
昭和37年４月	株式会社日本エヤーブレーキ（現　ナブテスコ株式会社）の販売代理店となる
昭和40年10月	株式会社日立製作所「鉄道車両用品」の旧国鉄向け販売代理店となる
昭和46年８月	神鋼電機株式会社（現　シンフォニアテクノロジー株式会社）の販売代理店となる
昭和52年10月	日本航空電子工業株式会社「コネクター及び同関連製品」の特約店となる
平成２年４月	小糸工業株式会社（現　コイト電工株式会社）「鉄道車両部品」の特定地区向け代理店となる
平成７年４月	東京都中央区に子会社ヤシマ物流株式会社設立（100%出資）
平成16年４月	中国現地法人　亜西瑪（上海）貿易有限公司を設立（100%出資）
平成20年１月	三友物産株式会社を子会社化（100%出資）
平成23年10月	日立三菱水力株式会社「水力発電システム」の販売代理店となる
平成25年11月	本社を現所在地に移転（東京都中央区日本橋兜町６番５号)
平成25年12月	当社の商号を 株式会社ヤシマキザイ に変更
平成29年４月	三友物産株式会社を吸収合併
令和元年６月	東京証券取引所 市場第二部 に上場

YASHIMA

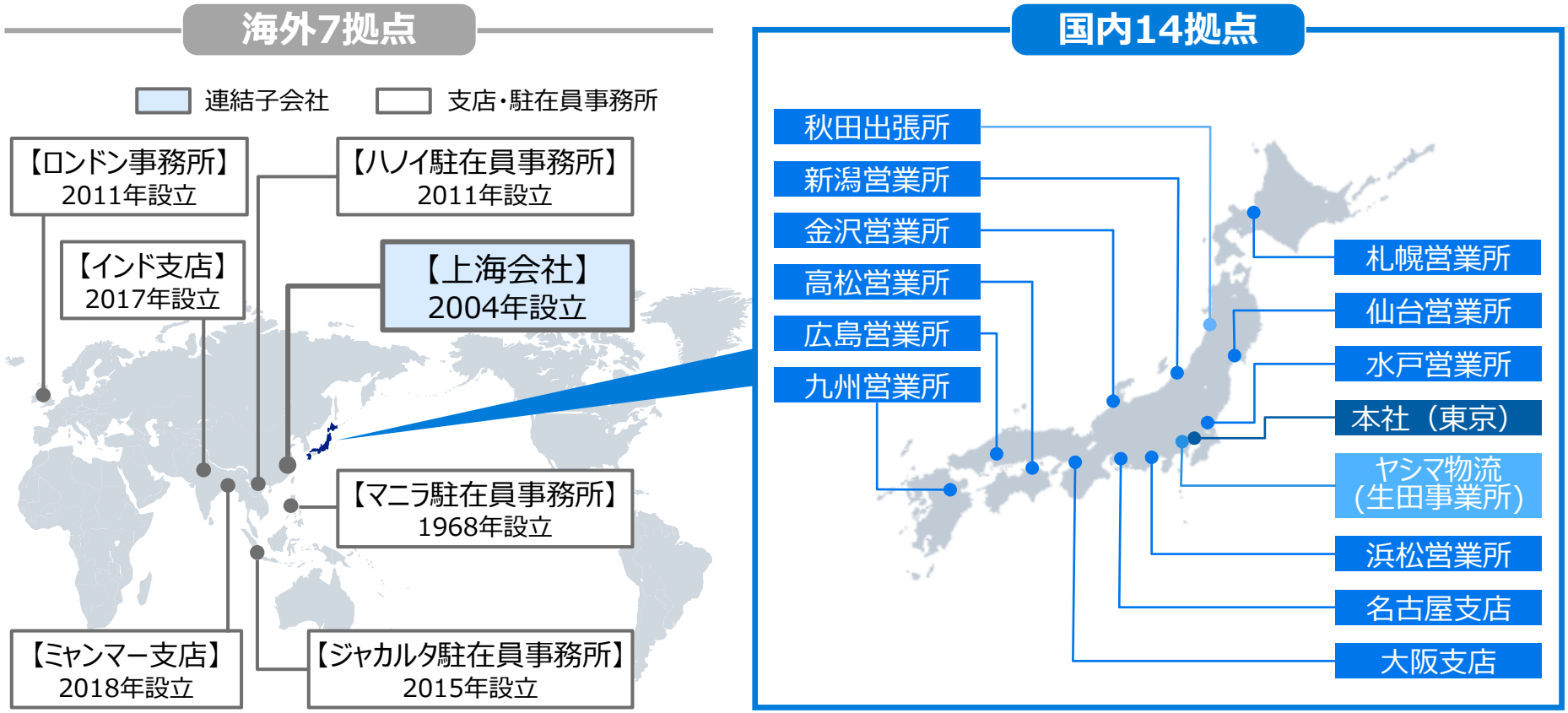
■ 1948年に設立、旧国鉄との取引から始まり70年、鉄道の発展に寄与し成長

ヤシマキザイ主要商材

内燃機関 →	電化 →	高速化 →	IT化 →	グローバル化 →
1950年代	1960～80年代	1990年代	2000年代	2010年代

YASHIMA

■ 日本全国を網羅する14拠点に加え、海外への展開を進めています



YASHIMA
株式会社ヤシマキザイ

東証二部　証券コード：7677

株式会社ヤシマキザイ

https://www.yashima-co.co.jp/

【お問い合わせ先】　経営企画室
ＴＥＬ：03-4218-0096
E-mail：contact-ir@yashima-co.co.jp